

FireSIGHT Management Center へのデバイスの登録

内容

[概要](#)

[コンフィギュレーション](#)

[ステップ 1：管理対象デバイスに FireSIGHT Management Center を追加する](#)

[FirePOWER アプライアンスの Web ユーザ インターフェイスの使用](#)

[Command Line Interface \(CLI; コマンドライン インターフェイス \) の使用](#)

[ステップ 2：FireSIGHT Management Center にデバイスを追加する](#)

[関連記事](#)

概要

新しい FireSIGHT Management Center を再イメージ化または購入する場合は、トラフィックを検査するデバイスに登録する必要があります。FireSIGHT Management Center は、FirePOWER アプライアンス、NGIPS 仮想アプライアンス、FirePOWER サービスを実行する ASA などに登録できます。この記事では、FireSIGHT Management Center にデバイスを登録する方法について説明します。

コンフィギュレーション

ステップ 1：管理対象デバイスに FireSIGHT Management Center を追加する

FirePOWER アプライアンスの Web ユーザ インターフェイスの使用

注：NGIPS 仮想デバイス、および ASA で実行されている FirePOWER サービスでは、Web インターフェイスを使用できません。FireSIGHT Management Center と FirePOWER アプライアンスでは Web ユーザ インターフェイスを使用できます。仮想デバイスまたは FirePOWER サービスが稼働している ASA がある場合は、CLI からマネージャを追加する手順に従ってください。

1. 「システム」>「ローカル」>「登録」に移動します。
2. 画面右上の[Add Manager]ボタンをクリックします。
3. [管理ホスト]フィールドに、デバイスを管理する管理センターの IP アドレスまたはホスト名を

入力します。このデバイスの登録に使用する固有の登録キー（英数字）を入力します。

4.情報を入力したら、[保存]をクリックします。

Command Line Interface (CLI; コマンドラインインターフェイス) の使用

1. FireSIGHT Management Centerに登録するデバイスのCLIに接続します。

ヒント：ASA 5512-XからASA 5555-Xでは、`session sfr console`コマンドを使用して、ASA CLIからモジュールへのコンソールセッションを開くことができます。マルチコンテキストモードでは、システム実行スペースからのセッション。

2.ユーザ名adminまたはCLI設定（管理者）アクセスレベルを持つ別のユーザ名でログインします。

3.プロンプトで、`configure manager add`コマンドを使用して、デバイスをFireSIGHT Management Centerに登録します。

注：デバイスを FireSIGHT Management Center に登録するには、常に一意の英数字登録キーが必要です。これはユーザが指定する簡単なキーで、ライセンスキーとは異なります。

このコマンドの構文は次のとおりです。

```
> configure manager add >  
reg_key
```

上記の構文では、

- `<hostname | IPv4_address | IPv6_address | DONTRESOLVE>` FireSIGHT Management Centerの完全修飾ホスト名またはIPアドレスを指定します。FireSIGHT Management Centerを直接アドレス指定できない場合は、`DONTRESOLVE`を使用します。
- `reg_key` は、デバイスを FireSIGHT Management Center へ登録するために必要な一意の英数字による登録キーです。
- `nat_id` は、FireSIGHT Management Center とデバイスとの間での登録プロセス中に使用されるオプションの英数字文字列です。これは `hostname` が `DONTRESOLVE` に設定されている場合に必要です。

ほとんどの場合、次のように、登録キーと共に FireSIGHT Management Center のホスト名または IP アドレスを指定する必要があります。

```
> configure manager add DC_IP_Address my_reg_key
```

ただし、デバイスと FireSIGHT Management Center が NAT デバイスによって分けられている場合は、登録キーと共に一意の NAT ID を入力し、ホスト名の代わりに `DONTRESOLVE` を指定します。たとえば次のようにします。

```
configure manager add DONTRESOLVE my_reg_key my_nat_id
```

次の例では、FireSIGHT Management Center と管理対象デバイス間に NAT 境界がなく、`123456` が登録キーとして使用されます。

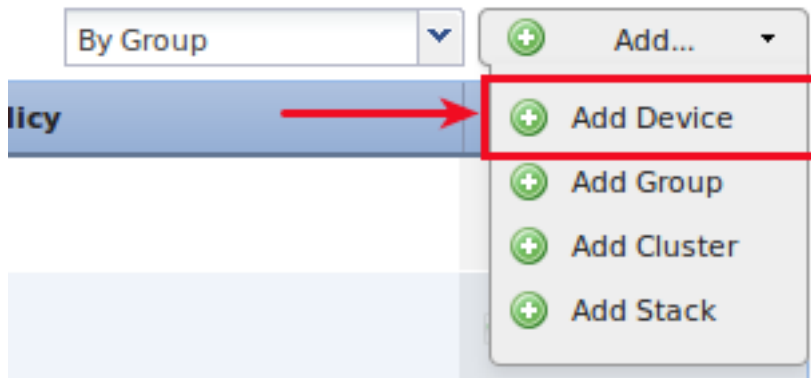
```
> configure manager add 192.0.2.2 123456
```

```
Manager successfully configured.
```

ステップ 2：FireSIGHT Management Center にデバイスを追加する 1. Management CenterのWebユーザインターフェイスにログインします。ページ上部の [Devices] タブをクリックします。



2.右上にある[Add]をクリックします。ドロップダウンリストが表示されます。[Add Device] をクリックします。画面中央に、デバイス情報の入力を求めるウィンドウが表示されます。



3. [ホスト]フィールドに、デバイスのIPアドレスを入力します。4. 「登録キー」フィールドに、以前に指定したワンタイム登録キーを入力します。5.残りのオプションを好みに設定します。NAT ID を使用していた場合は、[Advanced] をクリックして展開し、[Unique NAT ID] フィールドに同じ NAT ID を入力します。

Add Device



Host:	<input type="text" value="192.0.2.3"/>
Registration Key:	<input type="text" value="123456"/>
Group:	<input type="text" value="None"/> ▼
Access Control Policy:	<input type="text" value="Default Intrusion Prevention"/> ▼
Licensing	
Protection:	<input type="checkbox"/>
Control:	<input type="checkbox"/>
Malware:	<input type="checkbox"/>
URL Filtering:	<input type="checkbox"/>
VPN:	<input type="checkbox"/>
Advanced	
Unique NAT ID:	<input type="text"/>
Transfer Packets:	<input checked="" type="checkbox"/>

6. 「登録」をクリックします。これで、FireSIGHT Management Center からデバイスを管理できるようになりました。 **関連記事**

- [FireSIGHT システムの初期設定手順](#)